

自己犠牲防錆防食作用と通電性とを有する新しい防錆顔料

ReNASCO®

リナスコ®

特許第 4509873 号

特許第 5260587 号

特許第 5981636 号

特許出願中

US.201314773550

EP.13877147.2

CN.201380076307.3

IN.3262/KOLNP/2015

AU.2013381306

KR.20157027563

有限会社リタッグ

新技術の製造方法

従来、自己犠牲型防錆防食剤には、亜鉛フレークに異種金属を含有させた異種金属含有亜鉛フレークが使用されてきました。

異種金属含有亜鉛フレークは、主にアルミニウム含有亜鉛フレークで、製造方法は、熔融した亜鉛に熔融したアルミニウムを添加し、アトマイズ法によりアルミニウム含有亜鉛粒子にして、有機溶剤中潤滑剤と共にミルにてフレーク化し、乾燥、分級しアルミニウム含有亜鉛フレークを製造してきました。しかし、その製造方法は、熔融した亜鉛に、融点が異なる熔融したアルミニウムを常温で1%以上添加することが非常に難しく、特定の用途に使用されていたアルミニウム含有亜鉛粒子を使用しフレーク化したダークグレー色の異種金属含有亜鉛フレークしかありませんでした。

自己犠牲型防錆防食剤は用途によっては着色された色相を要望されることがありますが、今まではダークグレー色の亜鉛フレークに無機顔料を添加する着色方法しかなく、要望に応じられる色相の自己犠牲型防錆防食剤を製造することが困難でした。

当社の異種金属含有亜鉛フレークの **ReNASCO** は、従来技術の困難なその問題点に着目し、多岐にわたり性能が発揮でき、黒色、高輝度シルバー、ベンガラ、青色などの色相に着色できる、異種金属含有亜鉛フレークの製造方法およびそれを用いた自己犠牲型防錆防食剤の新しい製造方法で製造されます。

既存黒色顔料と **ReNASCO** の黒色顔料の違いについて

現在、既存黒色顔料は、カーボン（炭素）、酸化鉄、酸化モリブデン（塗料の滑剤）、酸化銅などが使用されますが、多くがカーボンと酸化鉄が使用されています。

防錆力のある黒色顔料は、1996年頃までは酸化鉄をクロム酸で処理をした、防錆黒色顔料として多く使用されてきましたが、クロム酸が公害を発生させる有害物質として使用されなくなり、高い防錆力のある黒色顔料なくなり、ただ単なる着色剤としてカーボンと酸化鉄が使用されてきました。

当社の、金属酸化物含有亜鉛フレーク **ReNASCO** は、新技術の製法による防錆力と隠蔽力とを兼ね備えた、黒色金属系顔料を製造することが可能になりました。

ReNASCO を幅広い用途に利用

新しい異種金属含有亜鉛フレーク ReNASCO は、これまでにない防錆防食性金属顔料です。電気抵抗が小さく導電性があり自己犠牲型防錆防食剤に使用できます。さらに耐ケミカル性、耐食性に優れており、ネジ、ボルト、自動車などの外装及びエンジンルーム、シャーシー、さらに船舶造船、建築、建設、土木などの幅広い用途に利用できます。